

ひら／＼／＼／＼とび始めました。

蝶々がうすいおはねをひら／＼動かす度に、お胸についた小さいつゆの玉は、キラ／＼とそれらは／＼きれいに光りました。

(をほり)

選外佳作の五

かたつむりさん

宮 田 國 子

かたつむりさんの住んでゐる木の近所に、蝶々さんも、玉蟲さんも、てんとう蟲も住んで居ました。かたつむりさんは背中に何時もお家を背負つて居ますので、歩くのが大變のろく、又面倒でした。それで大抵の時はお家の中で一人で遊んで居ました。

蝶々さんや、玉蟲さんや、てんとう蟲さんには、みんなきれいなお羽がありましたので、三人はお天氣のいゝ日は何時もあちらこちらを飛びまはつて面白く遊んで居ました。そして三人は時々かたつむりさんのお家へ来ては、いろ／＼な面白いお話をしてあげました。二三日前も

三人があそびに来て、蝶々さんはきれいなお花畑で美味しい蜜を澤山吸つて、お友達の蝶々さんミダンスをして遊んだ時のまても楽しかつたこみや、折角疲れて休んでゐるのにいたづらな坊ちやんが来て蝶々さんをつかまうとした時のこわかつた事等を話しました。

玉蟲さんは親類の伯母様のところへ遊びに行つて大變御馳走になつてうれしかつた時のこまをお話しました。又てんたう蟲さんは、お母様ミ、ばらの花のまてもきれいに澤山咲いてゐる垣にお花見に行つて、働き者の蟻さん達が、大勢並んで踊つてゐるのを見て随分面白かつた事を話して行きました。

かたつむりさんは三人のこんな面白さうなお話を聞く度に、羽のある蝶々さんや、玉蟲さんやてんたう蟲さんは何處へでも自分の行きたい所へ直ぐに喜んで行かれていゝなあま羨しく思ひました。

今日も大變いゝお天気でしたので、蝶々さん達は一番上等のまてもきれいな着物を着て、かたつむりさんの所へやつて來ました。

『今日は、かたつむりさんいゝお天気ですねえ、私達こんないゝお天気の日にお家にはかり居てもつまらないから、何處かへ遊びに行かうと思つてお誘ひに來ましたの、あなたもおうちにばかり居ないで少しは外へ出てお遊びなさいよ、外は随分いゝ氣持よ。』

『え、でも私あまり今日の様にお天氣がいゝ何だかまぶしくてく外へ出られないの。』
『そう、ぢや又かへつたらいろくお話してあげませうね。さようなら、行つて参ります。』
『さようなら』

三人はさては樂しさうに何處かへ飛んで行つてしまひました。

かたつむりさんは、『お天氣がよすぎてつまらないなあ』と一人言をいひながら葉蔭の方へ行きました。しばらくするに何だかお空が變になつて來て、ぱらく急に雨が降り出ししました。夕立が來たのです。かたつむりさんは大喜びでお家から出てそろくお散歩に出かけるお支度を始めました。そのうち雨はだんく小やみになつて來ましたので、見はらしのいゝ木枝の方へ行きました。するにむかふの方のお空にきれいなく、なものが見えました。

かたつむりさんは一體何を見たのでせう。

それは虹の橋を見たのです。かたつむりさんは大變うれしくなつて『まあ何てきれいなのでせう』と思はずいひました。そして、早く蝶々さん達があそびに來ればいゝなあ、そしたら今日のこのすばらしい虹の橋のこゝをお話してあげるのにと思ひました。